



あの日の約束、 今ここに——

JUNE
2025

6

CONTENTS

特集



04 南海トラフ巨大地震に備えよ

Self Survive!

防災の新たなキーワードとして注目されているのが「Self Survive (セルフサバイブ)」という考え方。

災害時には一人ひとりの備えが何よりの命綱ですが、今回の特集は「〇〇〇〇ならで
きる♪」でお馴染みの企業とコラボした長
編です。

10 6月のイベント情報

こころトキメク アートの時間

雨の日はちょっと退屈…。

そんな日こそアートの出番。心に触れる色
や形が、グレーの景色を鮮やかに塗り替え
ます。

11 通学路交通安全プログラム

全国で通学中の児童が巻き込まれる事故が
多発しています。市と地域の安全対策をご
紹介。

12 すくすく 子育て応援通信

来月の子育て支援イベント
初ママと赤ちゃんのための講座
赤ちゃん訪問

14 ヘルス&ケア 保健&介護

最新の介護保険料

まちの保健室
成人歯科検診
夏野菜カレーレシピ



16 ゆくゆく information
市民の伝言板

22 おすすめの学び

雨でついつい家にこもりがち…。
そんな時こそ学びのチャンスです。
“いつやるか？今でしょ！”

24 こすもっぺ各募集
消費生活センターニュース
プレミアム商品券取扱店募集

26 ゴミ減量プロジェクト
その1gを削り出せ。

番外編

27 今と昔を比べてみたら
ゆくはし今昔物語

この季節になると「記録的な豪雨」や「想
定外の渇水」といった極端な気象が、私た
ちのまちを脅かします。そして、巨大地震
への懸念も…。これまで「なんとかなる」
と思っていた備えが、今の時代では「もう
1段ギアを上げなければ」と訴えてもよい
のかもしれない。

入庁して2年目、2011年3月11日に発
生した東日本大震災。まだスマートフォン
も普及しておらず、情報が曖昧な中、1枚
の写真(下)に衝撃を受けました。当時、
どのような経緯だったかはあまり記憶にあ
りませんが、何かに導かれるように復興支
援(派遣)という形で現地の土を踏んだこ
とは鮮明に覚えています。

派遣された時期は、発災から約1年半後。
それでも、まだまだ手付かずの瓦礫がその
まま残されており、災害の恐怖を肌で感じ
るには十分でした。仕事柄、たくさんの住
民や職員の方と話す機会がありましたが、
共通することは「人は自然には勝てない」

「役所には限界がある」という言葉。最初
はネガティブな意味で聞いていましたが、
住民と役場の職員が絶望の中で、己の限界
を認め、「それぞれが真剣に備えをしてい
れば」といった前向きな意味での議論だと
気づきました。今では当たり前に使われま
すが、「減災」という言葉が広く一般にも
認知されるようになったのも、被災地の経
験と後悔があつてこそだと感じます。

「私たち一人ひとりが意識を変えて、備
えをしていけば被害はもっと減らせた。こ
の経験を多くの人に知らせてほしい」。派
遣先の役場から最後に宿題を受け取りまし
た。あれから13年。縁あって今回の防災
特集を担当することで、ようやく約束を果
たせたような気がしています。記事は1つ
1つを端的にし、興味がある項目だけを「見
る」ことができるよう工夫をしました。よ
り多くの方に1つだけでも目を通してもら
えれば幸いです。

それでは、今月のYUKUHASHI LIFE 始
まります。



この写真は2011年3月13日に撮影され、
朝日新聞、米ニューヨークタイムズ紙に掲
載されたものです。

